

保健体育科

【研究主題】

多様な関わりを通して健康を追究し、人生の豊かさを広げる生徒の育成

【研究副主題】

確かな方略的知識を基に、協働を調整・創造する運動学習

公開授業

学級：1年2組 授業者：山崎 星奈



ソフトテニス ～相手を惑わせる攻撃を組み立てよう～

第1、2学年のネット型の種目では、「空いた場所への攻撃を中心としたラリーの継続についての学習課題を追究すること」が求められています。ところが実際の授業では、地面の凸凹によるイレギュラーバウンドや生徒が強打に固執すること等により、ラリーが続かず、課題の追究が難しいことがあります。また、十分な数のテニスコートが整備されていないこと等からも、ネット型でソフトテニスを選択しない先生方も多いのではないのでしょうか。

そこで、“**室内でのハーフサイズソフトテニス**”を御提案いたします。

室内は環境面の影響が小さく、生徒の動きに起因しないミスがなくなるため、技能向上や作戦の工夫が得点に直結します。また、体育館でのプレーは、ボールの回転の効果を最大限に引き出すことにつながります。加えて、テニスコートの約半分の広さであるバドミントンコートを活用することで、強打の有効性を低減し、生徒の意識を「配球やその戦術的な工夫」へと焦点化します。ネット型本来の楽しさである「ラリーを通して相手との駆け引きを楽しむこと」が堪能できる本題材は、ネット型種目の導入に最適であると考えます。

当日は、「**自己の課題を基に、攻撃の組立を構想する授業**」を公開いたします。本校生徒が、自分の打球や動きに相手がどのように応じるかを合理的に考え予測し、相手と戦術的な駆け引きをする楽しさを味わうことを目指します。運動の新たな楽しさや奥深さに気づき、その喜びを実感する生徒の姿を御覧いただければ幸いです。

メタ認知との関わり

本時では、グループの課題に応じた練習を選択し実践する中で、メタ認知的知識「**自分やチームの目標や課題を明確にして練習すると学習効果が高まる**」の獲得を目指します。さらに、ゲームで有効だった作戦等を他者と共有する中で、方略的知識の幅を広げ、次時に向けて「**次こそうまくいきそうだ**」という**変容の兆し**を実感させることにより、学習意欲を喚起し、より主体的な学習へと昇華することを目指します。

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年12月13日（金）13:00 ～ 16:05



詳細はこちら